PFAS の検査は道薬検へ

最近耳にする機会の増えた「PFAS」。かつては様々な用途に使用された物質ですが、その有害性や難分解性がわかってくると、世界中で輸入や製造が規制されました。

中でも**「PFOS」**と**「PFOA」**は最も話題に上がる代表的な化合物ですが、これらが全国の水道水から相次いで検出されたため、環境省はこのふたつの物質を**2026 年 4 月から水道法上の「水質基準」に引き上げる方針を決定しました。**

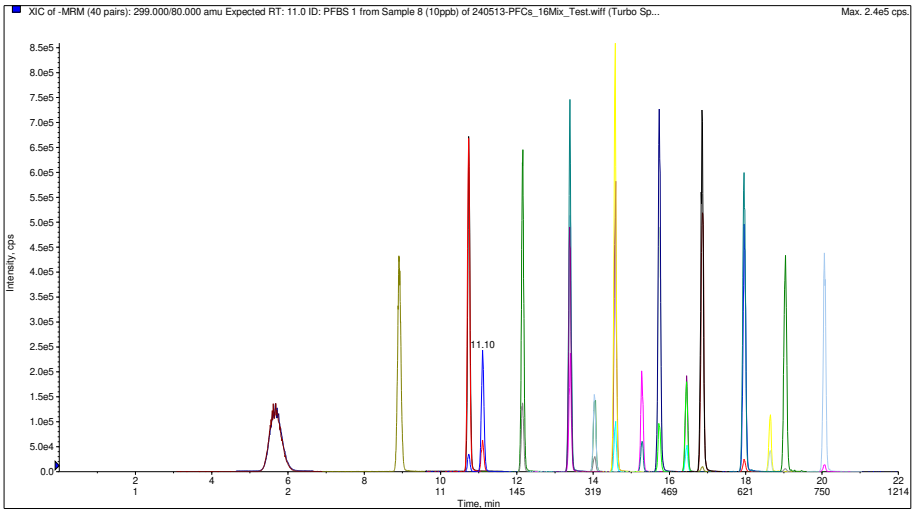
その基準値は「健康に悪影響が生じないと考えられる水準」としている現在の暫定目標値と同じ、**1 リットルあたり 50 ナノグラム**。これは、水質基準の中でも難度の高い超微量分析であり、熟練した検査精度が求められます。

道薬検では PFOS 及び PFOA、PFHxS について
全国でも先駆けて高感度で信頼性の高い分析を実施しています

当センターでは、液体クロマトグラフ―タンデム質量分析計（LC-MS/MS）を用いて、水中の PFOS 及び PFOA に加え、PFHxS の 3 成分同時分析を行っています。令和 6 年度においては**80 市町村、500 件を超える検体を測定**し、道内における各成分の残留実態把握に努めています。

さらに、上記 3 成分にとどまらず、より多成分の残留実態把握に向けた新規分析条件の検討も進めています。

PFASの分析は道薬検にご相談ください



↑多成分同時分析におけるクロマトグラム

●対象試料

水試料（飲料水、河川水、地下水、湖沼水、海水、下水道放流水等）

●分析方法

高速液体クロマトグラフ-タンデム型質量分析（LC－MS/MS）

●検水量

1.5～2L（容器は貸出いたします）

●検査可能項目

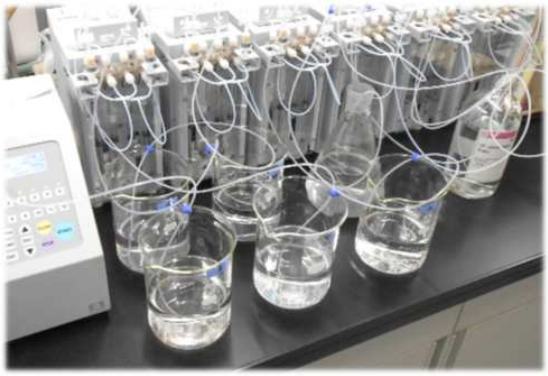
PFOS：ペルフルオロオクタンスルホン酸

PFOA：ペルフルオロオクタン酸

PFHxS：ペルフルオロヘキサンスルホン酸

●検査料金

お問い合わせください



お問い合わせ先はこちら

一般財団法人　北海道薬剤師会公衆衛生検査センター

住　所	〒062-0931 北海道札幌市豊平区平岸１条８丁目６番６号
TEL	011-824-1348
FAX	011-824-1627
受付時間	9：00～17：30　（月～金）
定休日	土日祝

https://www.douyakken.or.jp/